

市場価格

ドル建て ドル/TOZ

Platinum	Price	Date
Open	985.00	2022/11/28
High	1055.80	2022/12/01
Low	975.07	2022/11/28
Close	1017.70	2022/12/02

円建て 円/グラム

Platinum	Price	Date
Open	4413.00	2022/11/28
High	4658.00	2022/11/28
Low	4336.00	2022/11/28
Close	4394.00	2022/12/02

ドル建て ドル/TOZ

Palladium	Price	Date
Open	1838.00	2022/11/28
High	1951.00	2022/12/02
Low	1825.00	2022/11/28
Close	1899.00	2022/12/02

円建て 円/グラム

Palladium	Price	Date
Open	8235.00	2022/11/28
High	8637.00	2022/11/30
Low	8146.00	2022/11/30
Close	8203.00	2022/12/02



ニュースエクスプレス

プラチナ

円の上昇で日本の投資家、利食い売り

プラチナ価格は8月以来ドル建てで 18.5% 上がり、他の貴金属や PGMのパフォーマンスを大きく引き離しているが、世界のプラチナ上場投資信託(ETF)への投資はネットでネガティブとなっており、ゴールドETF、シルバーETFでも同様の傾向。日本の投資家は価格に非常に敏感で、4000円/グラムがETFの利食いを誘う心理的なラインとして機能している。このパターンは今年も年初から繰り返されており、6月と10月に4000円/グラムを超えた時にETFが売られた。プラチナ価格は11月に4688円/グラムの高値をつけ、末日までに日本のファンドのネットの売りは全体の1割となる 332キロを超えた。逆に北米のファンドは、年初からのネットではネガティブだが、10月はドル建て価格が7ヶ月ぶりに上がり、68.4キロの買いとなった。

三菱商事／PGM二次資源事業強化／低炭素原料需要捕捉へ

三菱商事は、カーボンニュートラルに向けた取り組みが世界的に加速する中、プラチナなど白金族（PGM）二次資源のトレーディング事業を強化する方針だ。PGM需要の増加が見込まれていることに加え、低炭素原料である二次資源を求める声が需要家サイドで増えているため、環境負荷の低い二次資源の扱いを増やすことで社会的ニーズに応える。

南アフリカと英国、燃料電池とプラチナ供給で協力体制

英国と南アフリカは、2国間で南アフリカの PGM 資源の採掘、生産、選鉱への投資に協力する旨を発表。これには燃料電池プロジェクトも含まれる。現在、水素燃料関連のプラチナ需要は全体の1%ほどしかないが、今後2020年代に大きく伸びるとされる。リサーチと開発への投資が進めば燃料電池自動車の普及を促進し、プラチナ需要に貢献する可能性がある。

[https://www.heraeus.com/media/media/hpm/doc\\_hpm/precious\\_metal\\_update/en\\_6/Appraisal\\_20221128.pdf#msdyntrtid=6ffWpjCR6Oe82MhFrZKjqvF6adjypMHqWXZXBKNJ3KA](https://www.heraeus.com/media/media/hpm/doc_hpm/precious_metal_update/en_6/Appraisal_20221128.pdf#msdyntrtid=6ffWpjCR6Oe82MhFrZKjqvF6adjypMHqWXZXBKNJ3KA)

<https://www.japanmetaldaily.com/articles/-/116408>

パラジウム

ノリリスクニッケル、2022年のパラジウムの供給不足は 18.7トンに

世界最大のパラジウムと高品位ニッケルの生産者、ノリリスクニッケルはマーケットレビューレポートにて、今年のパラジウム市場は18.7トン（60万オンス）の供給不足となり、ロンドン・プラチナ・パラジウム市場(LPPM)がロシアの精錬所を除外したことで、パラジウムの世界的な供給は深刻な事態に陥るとしている。

レポートでは「ノリリスクニッケルが原材料から精錬パラジウムの生産に使うロシアの精錬所をLPPMのグッドデリバリーリストから除外するという安易な決定で、グッドデリバリー承認のスポンジとインゴットの供給が大幅に減少した。需要が回復すれば、特に自動車生産が回復すれば、2023年の供給は全く追いつかないだろう。」としている。

さらに南アフリカの精錬所の操業中断も大きな生産リスクの一つであるとしている。

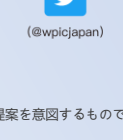
ノリリスクニッケルは、2022年のパラジウム市場の供給不足を当初は3.1トン（10万オンス）としていたが、それを18.7トン（60万オンス）に修正した。2023年の不足は24.9トン（80万オンス）になるとしている。

<https://www.urdupoint.com/en/world/nornickel-sees-palladium-deficit-at-600000-o-1602811.html>

Translated by Osawa KAZUKO

WPIC直近の活動

- 国際再生可能エネルギー機関の報告によると、グリーン水素をエネルギーキャリアとして使えば、長距離でも再生可能エネルギーの生産コストの低い地域から再生可能エネルギーが必要な地域へ輸送することが可能になる。それはアンモニアを水素のキャリアとして輸送に使うことであり、既存の流通経路のインフラ及び取引形態が利用できることである。詳しくはプラチナ豆知識「グリーン水素の発展」（2022年11月30日）をご覧ください。<https://platinuminvestment.com/about/60-seconds-in-platinum>



(@wpicjapan)

免責事項: 本資料は情報提供に過ぎず、WPICの投資提案を意図するものではなく、また、そのように解釈されるべきでもありません。